

# 板橋区

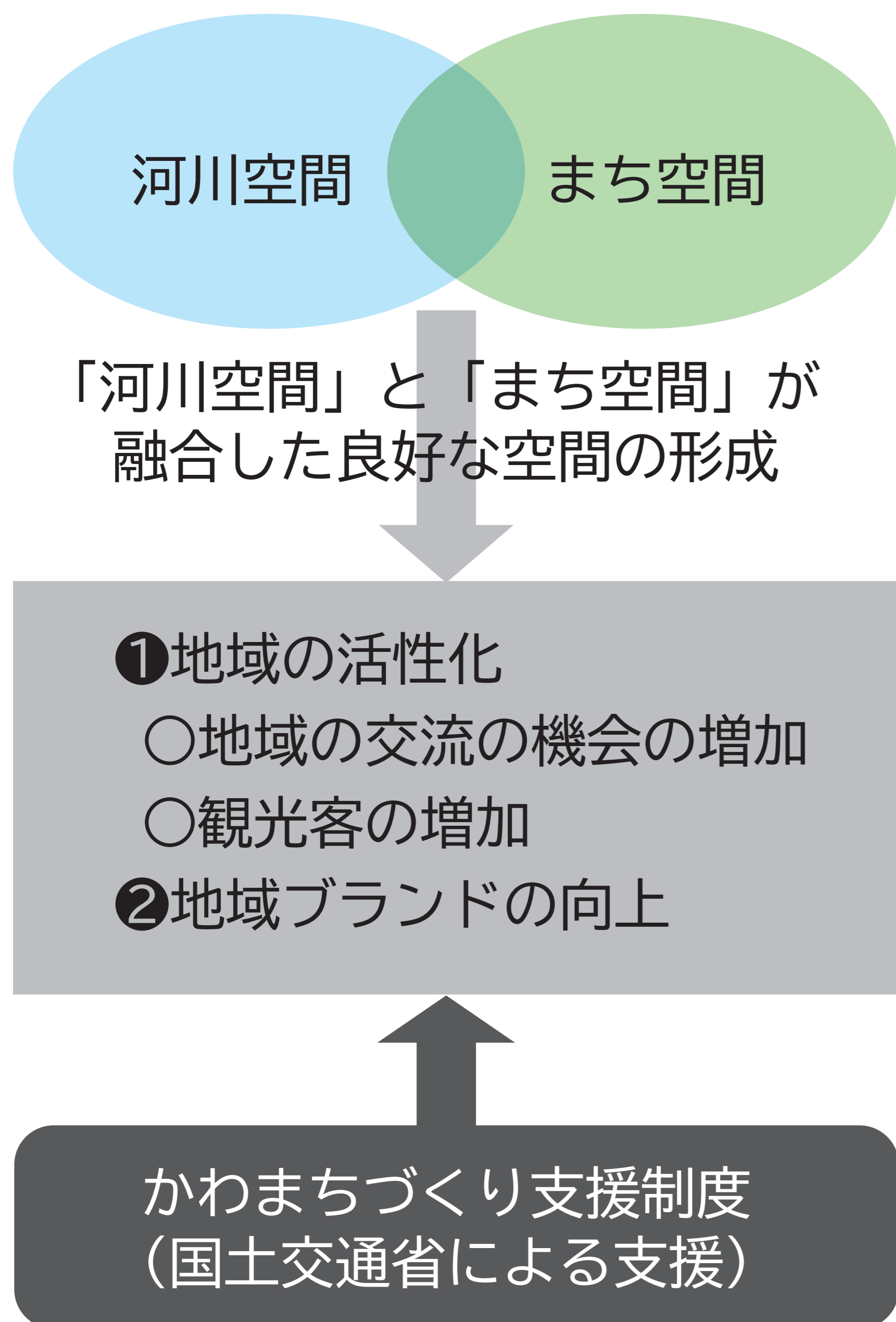
## かわまちづくり基本計画

～ ITTA KAWAMACHI PROJECT ～



# 「かわまちづくり」とは

河川とまちが一体となった魅力的な空間を創出し、地域の活性化とブランド向上をめざす取組です。板橋区では、荒川の河川敷を対象に「かわまちづくり」の取組を進めています。



## かわまちづくり事例

### ●伊豆の国市かわまちづくり (静岡県)



出典：国土交通省ウェブサイト



◀かわまちづくり支援制度について  
(国土交通省ウェブサイト)

### ●聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり (東京都)



出典：国土交通省ウェブサイト



◀板橋区かわまちづくりについて  
(板橋区ウェブサイト)

# 板橋区かわまちづくり基本計画 策定の経緯

板橋区かわまちづくりは、「災害に強い首都『東京』形成ビジョン」モデル地区に指定された新河岸・舟渡地区の水害対策である連絡通路の整備をきっかけにスタートしました。

R3.8

国の「かわまちづくり支援制度」登録

▶にぎわい創出に防災の要素をプラスした点が特徴

R6.1

「板橋区かわまちづくり基本構想」策定

▶にぎわい創出に向けて取組の基本方針を発表

R8.1

「板橋区かわまちづくり基本計画」策定

▶基本構想の具体化等に向けて整備や取組を推進

荒川河川敷が区民に愛され、誇りとなるとともに、  
魅力的な水辺空間の形成をめざします。

# 荒川河川敷の区関連施設

板橋区かわまちづくり対象エリア周辺には、様々な区関連施設があります。  
荒川河川敷にお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。

## 体育施設



荒川戸田橋野球場



荒川戸田橋サッカー場

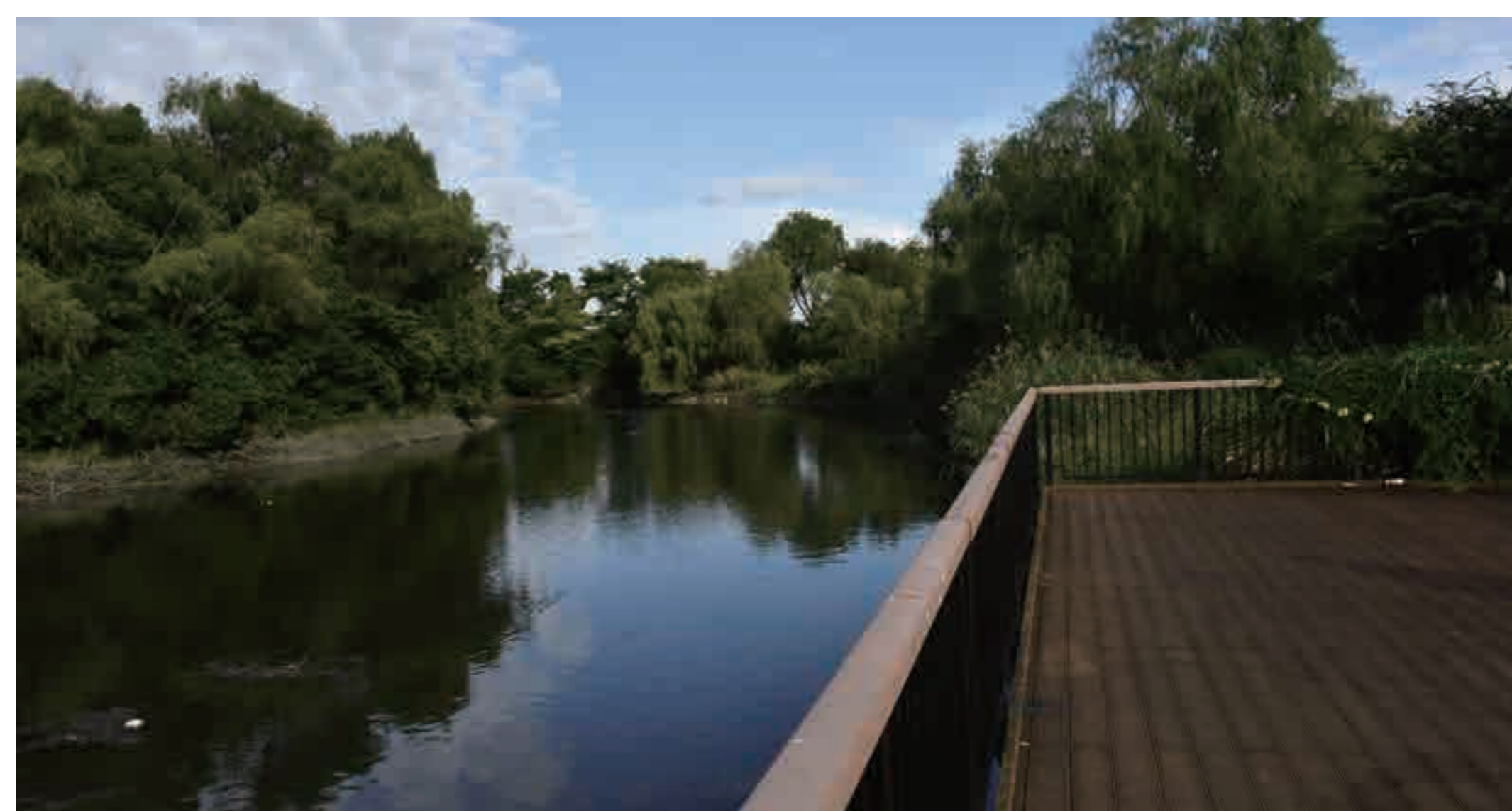


荒川戸田橋陸上競技場



新河岸陸上競技場

## 緑地



荒川生物生態園（サンクチュアリ）



草地広場

## その他関連施設



リサイクルプラザ



板橋区立体育  
施設の情報



荒川戸田橋緑地  
ウェブサイト



リサイクルプラザ  
ウェブサイト

# 荒川河川敷でのイベント

荒川の豊かな水辺空間と広大なオープンスペースを活かし、様々なイベントが開催されています。

## 3月 板橋 City マラソン

戸田橋上流をスタート・ゴール地点として、荒川大橋で折り返して、荒川河川敷を走るコースで、日本陸連公認／世界陸連（WA）認証コースとなっています。



## 4月 親子たこあげ大会

親子で昔遊びを体験・継承し、ともに考え工夫しながら楽しむ、青少年の健全育成を目的としたイベントです。



## 8月 いたばし花火大会

階段状の堤防を観覧席に設け、東京最大の大玉「尺五寸玉」や「ワイドスターメイン」、対岸の戸田市と合わせて 15,000 発の打ち上げ花火など、見どころ満載の花火大会です。



# かわまちづくりの課題

荒川河川敷には、以下のような課題があります。



## ①河川空間を訪れる人々の増加

現在は野球やサッカーなどのスポーツ利用や散策が中心であり、バーベキューや水際・水面の利用は少ない傾向にあります。



## ②既存機能の充実

荒川河川敷では滞在時間が短く利用頻度も低い状況にあり、夏の日差し対策となる休憩所やトイレの数・衛生面にも課題があります。



## ③インパクトある事業の展開や安定した運営

利用者層の獲得に向けた集客環境の形成とともに、効率的な行政運営や維持管理の観点を踏まえた取組が必要です。



## ④防災機能の充実

荒川は震災時の避難場所や支援物資の拠点としての役割を担うとともに、区が進める高台まちづくりとあわせて、水害にも対応できる防災機能の充実が求められています。



## ⑤特徴を活かしたまちづくりへの貢献

河川敷までのアクセスや周辺の土地利用などに課題があります。

# かわまちづくりの方向性

「防災」と「にぎわい創出」の2つを軸に、次のような方向性で自然豊かな空間を整え、荒川河川敷の魅力および機能向上をめざします。

また、5つの課題解決に向けて次の5つの視点から整備・取組を推進します。



① 新たな利用者層の獲得と、区のブランドとなるコンテンツの創出



② 河川空間利用者の利便性向上と、みどり豊かな河川環境の利活用



③ 関係団体との共創による事業展開や安定した運営

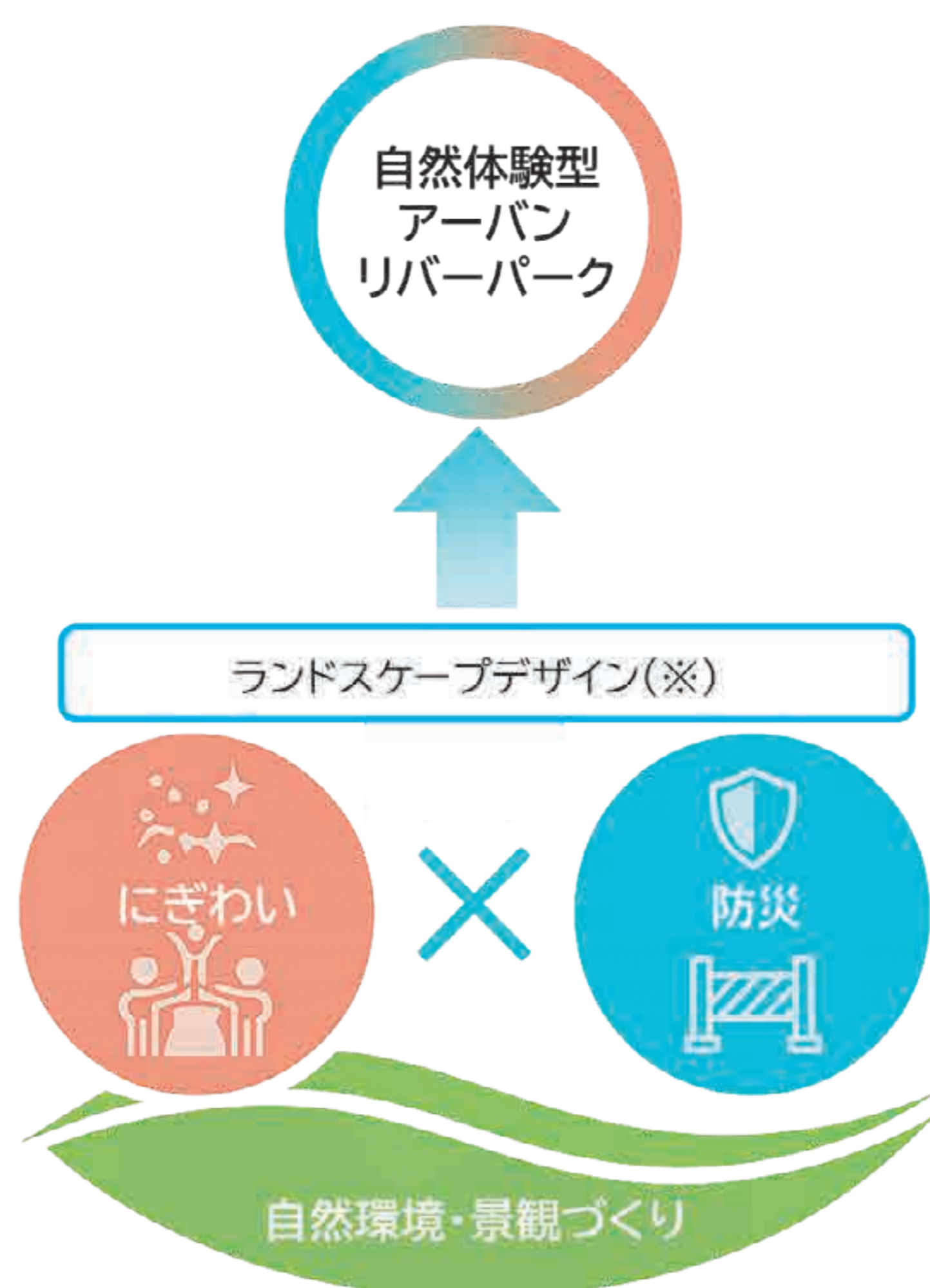


④ 「高台まちづくり」のさらなる推進による防災機能の強化



⑤ まちづくりとの連携による相互の課題解決と新たな価値の創出

## 全体コンセプト「自然体験型アーバンリバーパーク」実現に向けた方向性のイメージ

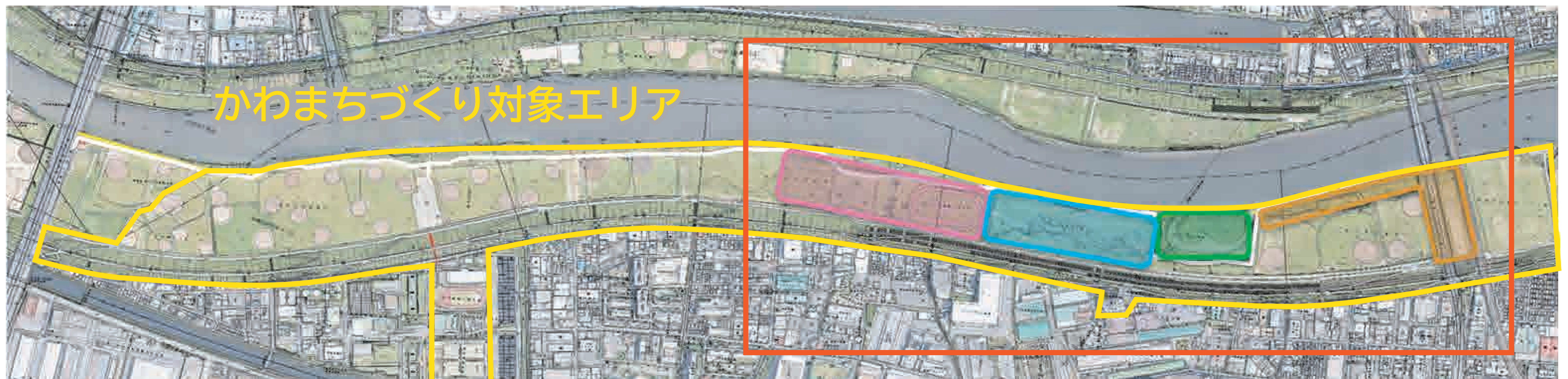


(※) ランドスケープデザインとは…

建物だけでなく、自然や水辺、広場などを含めた屋外空間全体を計画・デザインする考え方です。地域の自然や風土、景観を活かしながら、人々が心地よく過ごせる環境を創ります。

# かわまちづくりの展開

かわまちづくりの対象エリアのうち、戸田橋側の約2 km の範囲を4つのゾーンに分け、それぞれの特徴を活かした計画とします。



## I: スポーツ・カルチャー発信ゾーン

スポーツやイベントで多くの人が集まり、活気あふれる場をめざします。

## II: 水辺のにぎわい・アウトドアゾーン

水辺での遊びやアウトドア体験で、誰もが楽しめる憩いの場をめざします。



## III: 自然・環境ゾーン

生き物たちの住む自然環境を大切にし、みどりあふれる場をめざします。

## IV: スポーツ・アクティビティゾーン

新しいスポーツやアクティビティでたくさんの人でにぎわう場をめざします。

自然豊かな荒川河川敷で、誰もが楽しめる「かわ」と「まち」  
が一体となる空間を板橋区のブランドとして共に創りあげる

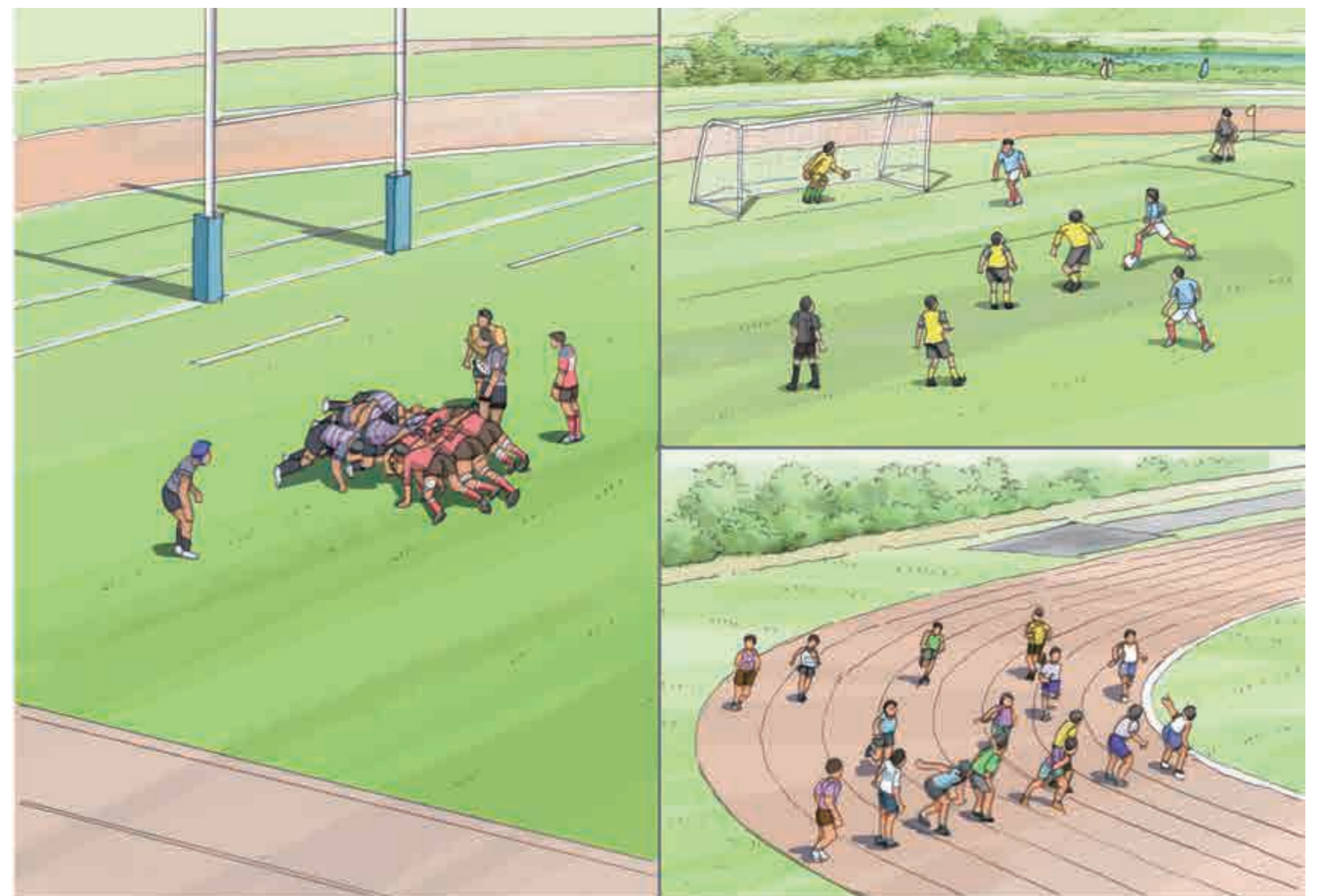
## ～自然体験型アーバンリバーパーク～



# 🏆 スポーツ・カルチャー発信ゾーン

- 広大なスペースを活かした様々なイベントを開催します。
- 荒川戸田橋陸上競技場を改修し、スポーツの充実を図ります。

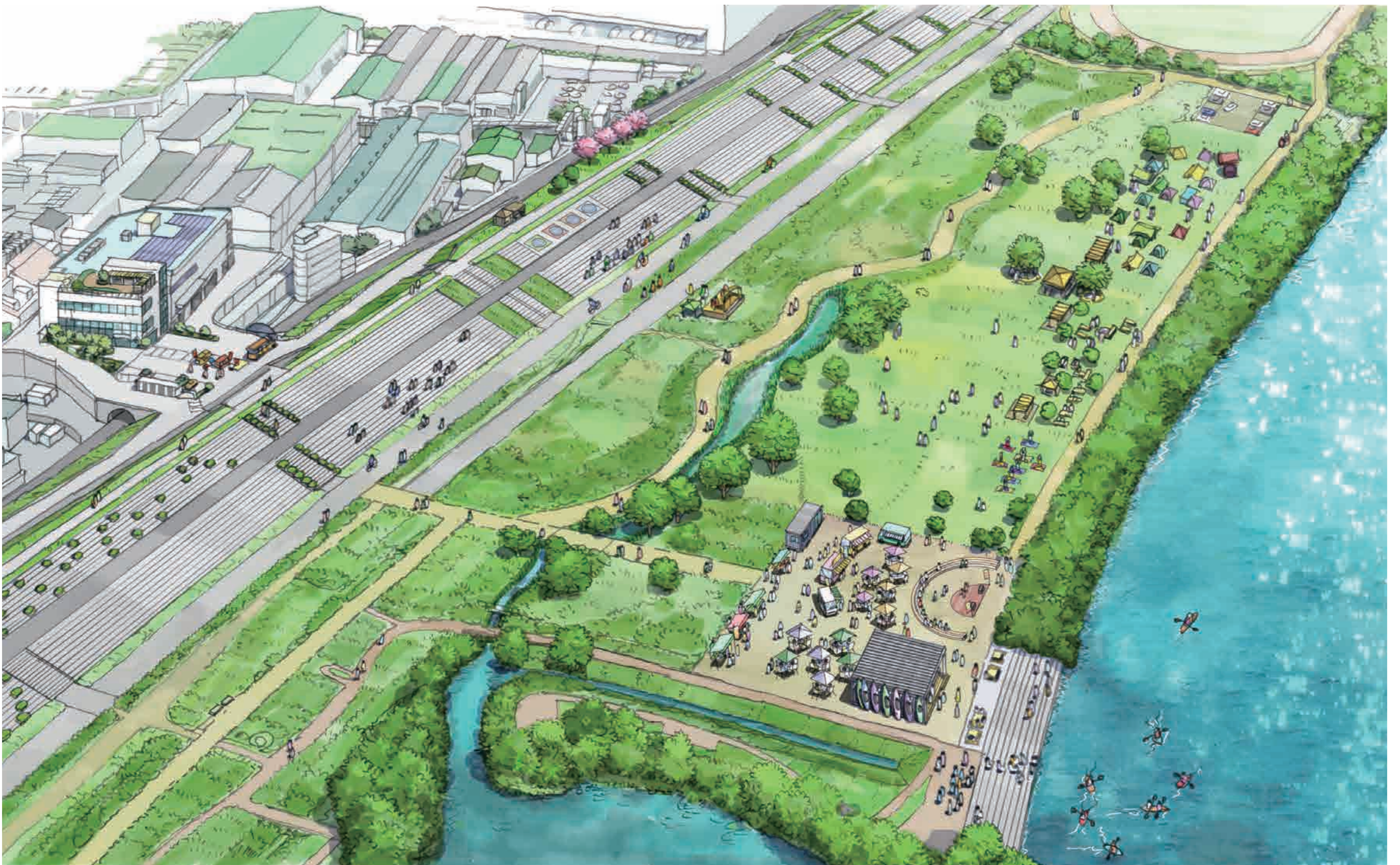
〈取組例〉 スポーツ・音楽イベント など



# ▲ 水辺のにぎわい・アウトドアゾーン

- かわまちづくりの中心となる水辺に親しめる空間を創ります。
- 自然を活用し、バーベキューやキャンプ、カフェ等の利用ができる場所としていきます。

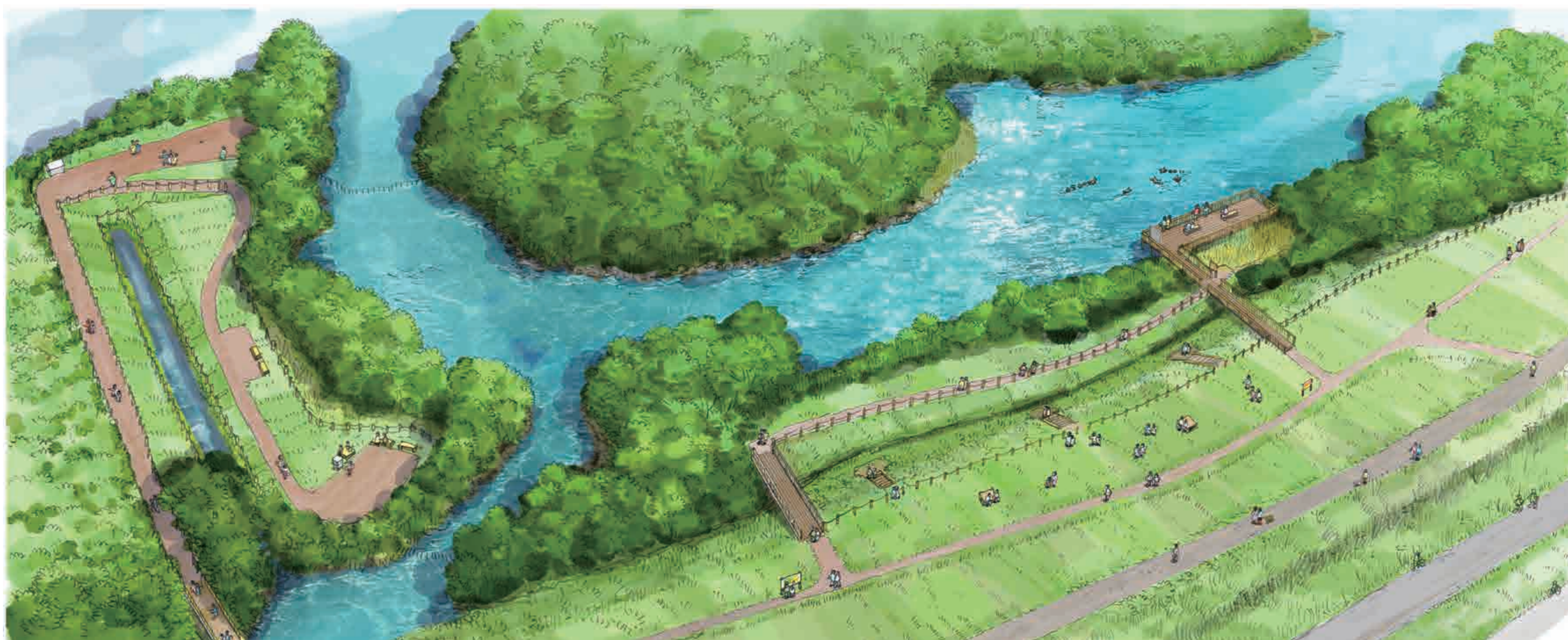
〈取組例〉 バーベキュー、キャンプ、キッチンカー など



## 自然・環境ゾーン

- 荒川生物生態園を活用し、みどりの拠点となる空間を創ります。
- みどりや水辺といった自然と触れ合え学べる機会の充実を図ります。

〈取組例〉 自然体験、環境学習 など



# 🚲 スポーツ・アクティビティゾーン

- 多様なアクティビティによりたくさんの人々でにぎわう場所としていきます。
- かわまちづくりの玄関口として、駐車場やトイレの充実を図ります。

〈取組例〉マウンテンバイクコース、ドッグラン など



# 関係団体との共創

かわまちづくりを進めるにあたっては、整備や維持管理・運営面のメリットが高いことから公民連携の視点は非常に重要となります。

3つの取組方針に基づき、民間業者のノウハウやアイデアを活かすとともに、役割分担や地域住民の声などを取り入れながら共創空間の構築をめざします。

## 取組方針

取組方針①  
にぎわい  
拠点づくり

### 〈主な取組〉

- 親水広場・園路等コアエリアの整備・運営
- 生物生態園等、自然の有効活用
- 車両・トイレ等工作物の導入 など

取組方針②  
にぎわい  
機能の拡充

### 〈主な取組〉

- トライアル・サウンディングの実施
- 新たなイベント・機能拡充に向けた取組
- 荒川戸田橋陸上競技場の改修 など

取組方針③  
関係機関  
との連携

### 〈主な取組〉

- プロムナード・親水護岸の整備
- 関係指定管理者との連携 など

## 共創空間構築に向けた推進体制

板橋区

役割分担

民間事業者

連携

意見交換・協力・報告

板橋区かわまちづくり協議会等

# かわまちづくりの 整備・取組スケジュール

今後板橋区では、段階的に検討・整備を進めます。

## ①にぎわい拠点づくり

にぎわいの拠点となる「コアエリア」の設計・整備、運営

車両・トイレ等の制作・導入

## ②にぎわい機能拡充

ソフト事業の充実

陸上競技場の改修

## ③関係機関との連携

プロムナード（散策路）などの整備（国土交通省）

現 指定管理者

再選定

R8 ~ R9

R10 ~ R11

R12 ~ R13 以降

※スケジュールは現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

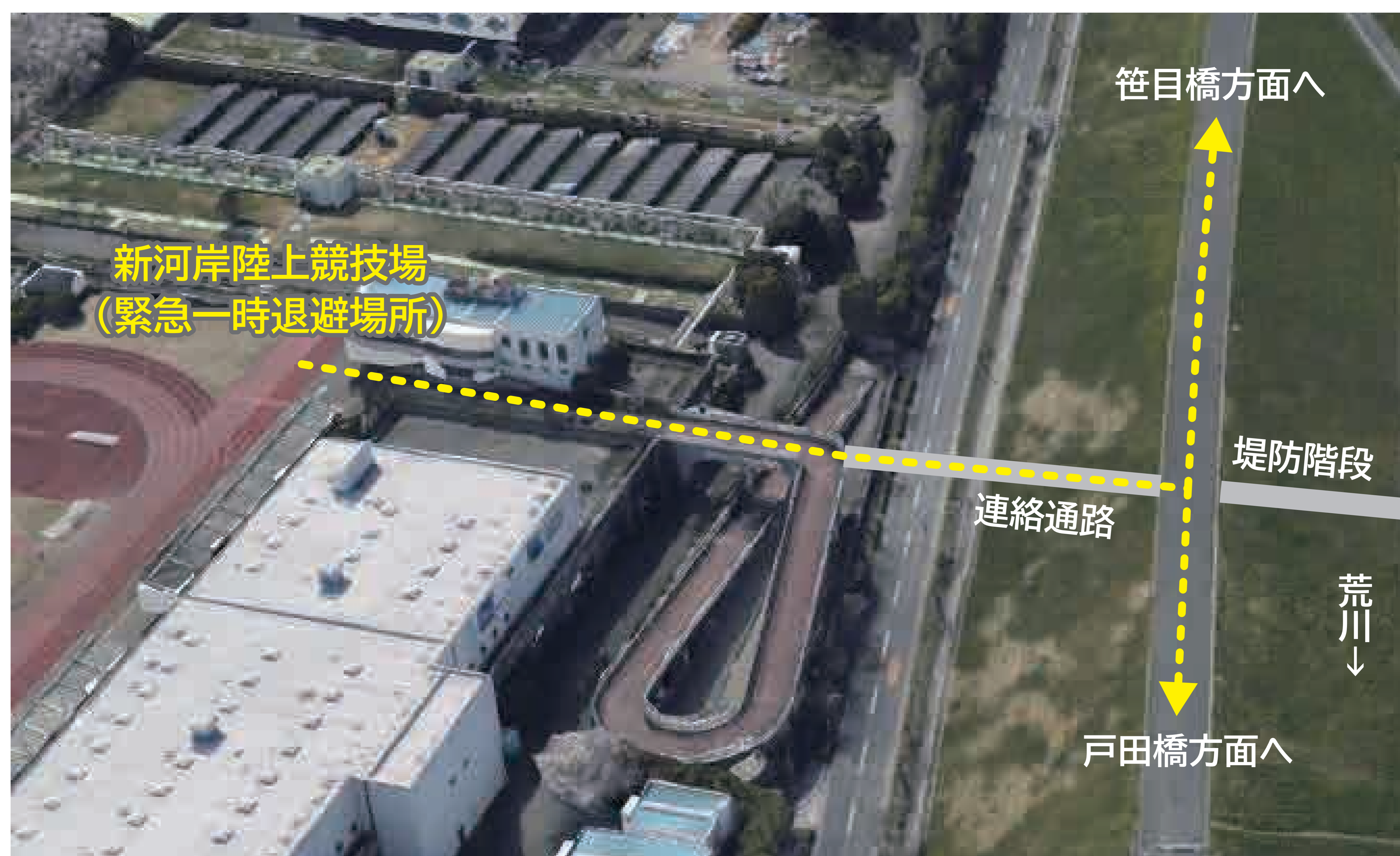
# 板橋区かわまちづくり連絡通路①

## 連絡通路の整備

大規模水害により荒川が決壊した場合、新河岸地区では5 m以上の浸水が2週間以上続くと想定されます。

このような状況において、新河岸陸上競技場は『緊急一時退避場所』として機能します。

一時退避後、連絡通路および堤防天端を経由して浸水区域外への安全な避難が可能となります。さらに、平常時においては河川敷へのアクセス性が向上し、河川敷利用者の利便性向上にも寄与します。



出典：荒川下流河川事務所ウェブサイトをもとに作成

▲緊急一時退避場所からの脱出ルート

# 板橋区かわまちづくり連絡通路②

## 完成式の開催

令和8年3月、連絡通路の完成を記念して完成式が行われました。式典には関係者の皆様をお招きし、主催および来賓者によるご挨拶、テープカット、記念撮影、そして荒川下流河川事務所による工事報告が行われました。



▲区長挨拶の様子



▲テープカットの様子



▲完成した連絡通路



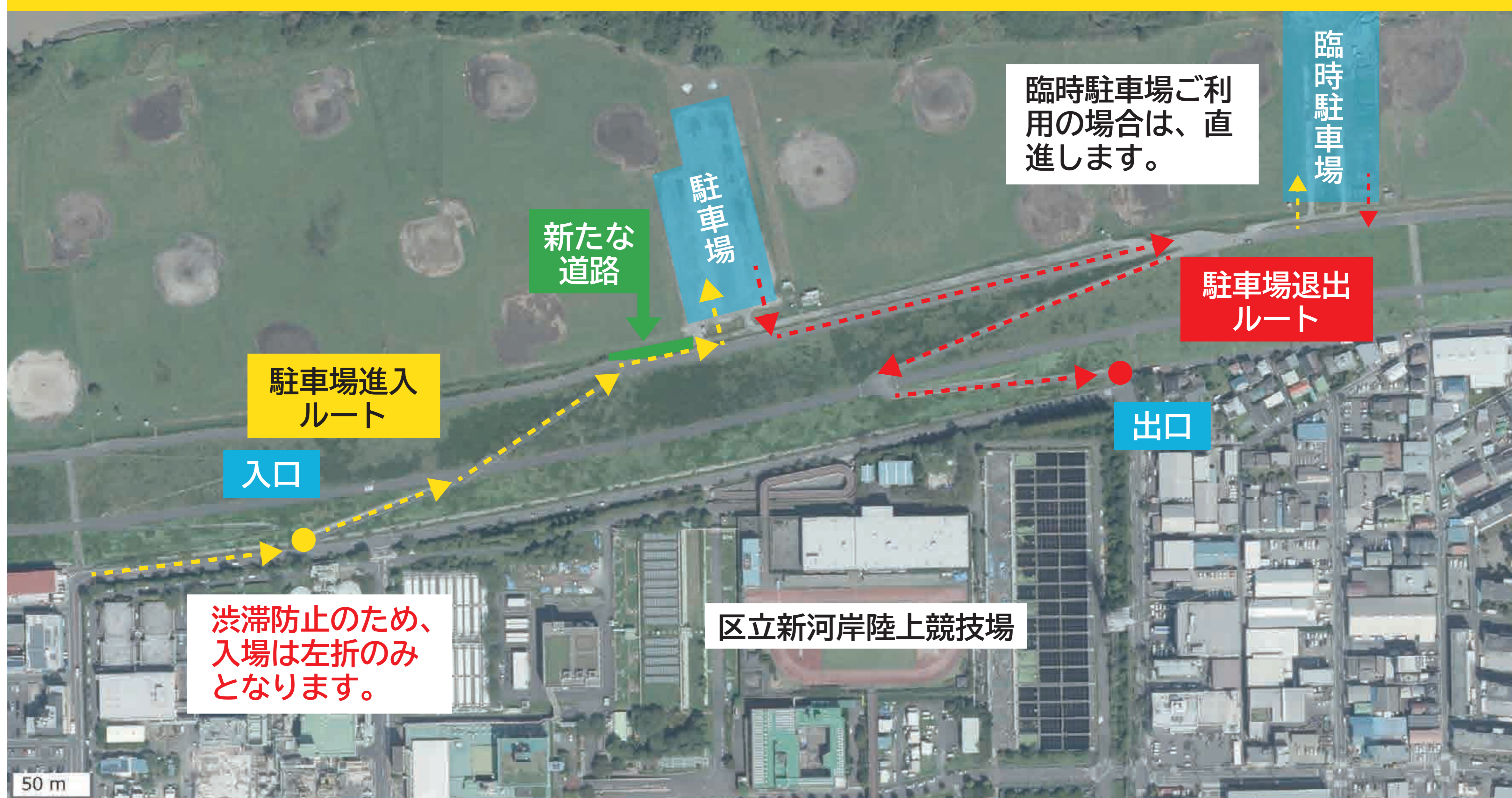
▲完成した連絡通路（荒川側より）

# 荒川戸田橋野球場 渋滞緩和道路等整備

新河岸水再生センター前駐車場への入出庫のルートについて、従来、相互通行だったため頻繁に渋滞が生じていました。

今回、スポーツ施設利用者の利便性向上を図るため、新河岸水再生センター前駐車場周辺の渋滞緩和に向けた道路等の整備を行いました。

## 新河岸水再生センター前駐車場 新ルート



地理院地図を加工して作成

### 【駐車場進入ルート入口】



### 【取付道路】



# 荒川下流河川事務所管内初！ 河川敷へのシェアサイクルポートの設置

“かわ”と“まち”をつなぐアクセス機能の向上の1つとして、荒川下流河川事務所管内で初めて、河川敷にシェアサイクルポートが設置されました。

※本ポートは電動自転車のみのお取り扱いとなります。（電動キックボードの利用及び返却は不可）

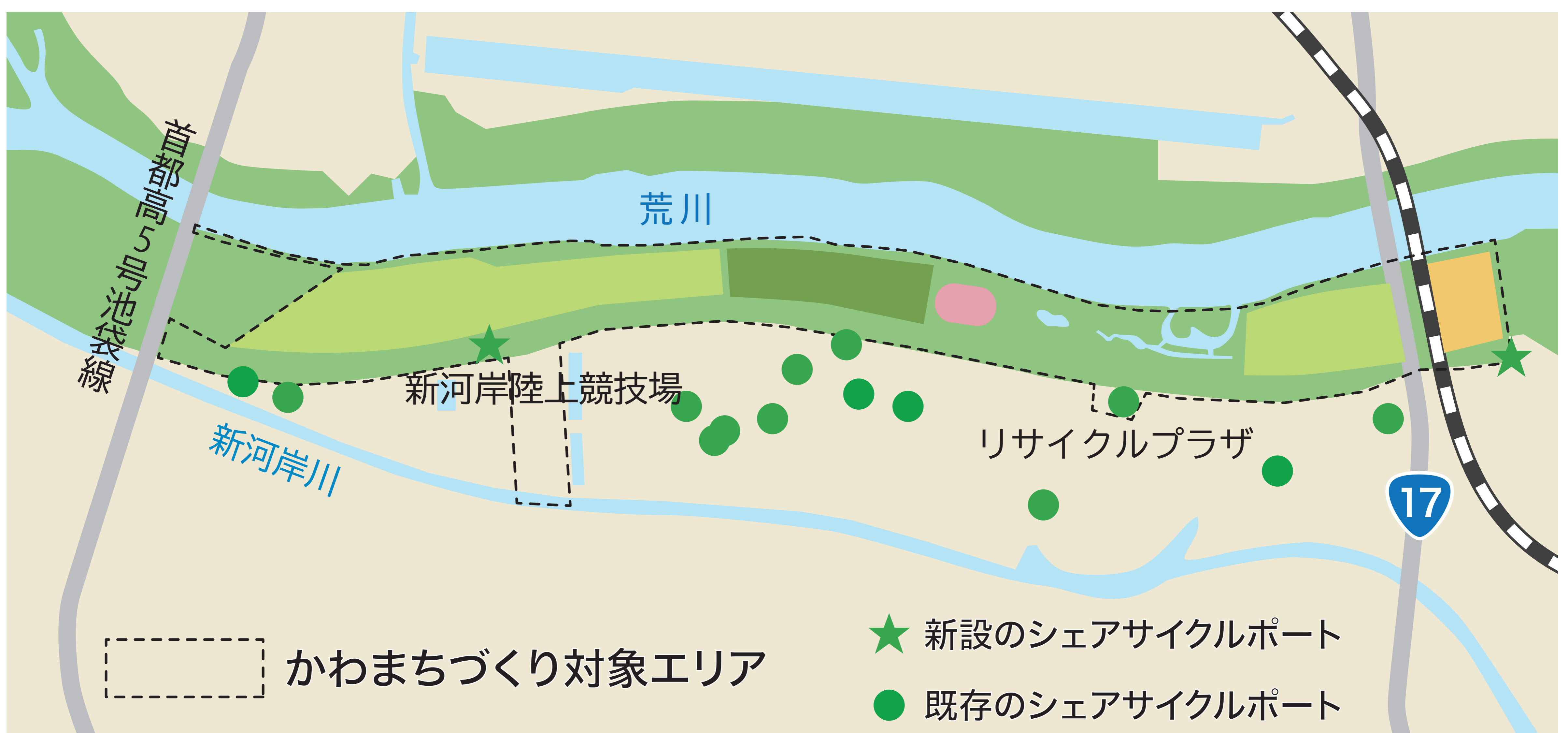
## 【新設ポートの様子】



▲新河岸水再生センター前駐車場



▲荒川戸田橋サッカー場



▲荒川河川敷周辺におけるシェアサイクルスポット（R8.4時点）

# 板橋区かわまちづくり トライアル・サウンディング

## トライアル・サウンディングとは？

事業者等が河川敷でサービスや店舗などの運営を試験的に行い、暫定的な利用を通じて将来の本格的な活用につなげる取組です。

板橋区かわまちづくりでは、将来的な事業参入に向けた条件や手法を検討するため、事業者等を公募しています。

## 対象エリア



①草地広場



②戸田橋陸上競技場  
アスファルト部分



③戸田橋下駐車場

## 実施要件

河川敷の本格活用時に主体的に運営できる事業者等であること

## 募集期間

令和8年1月13日（火）～令和8年11月30日（月）

## その他詳細

右の二次元コードを参照



# 荒川戸田橋陸上競技場の改修

荒川戸田橋陸上競技場を改修し、陸上やサッカー利用の充実を図るとともに、新たにラグビー機能を設けることで、新たな利用者層を呼び込み、河川敷の「にぎわい機能の拡充」に寄与していきます。

なお、今後のスケジュールとしては、令和8年度に工事着手、令和9年度の完成を予定しております。

【現況写真】



【整備後イメージ】

